チケット料金

■11/2 オープニング・コンサート：一般：￥5,000／U25：￥3,000
■11/3 エスプリ・ドゥ・パリ：一般：￥5,000／U25：￥3,000
■11/4 ファイナル・コンサート：一般：￥5,000／U25：￥3,000
■11/4 ファミリー・コンサート：おとな￥2,000／こども￥1,000（4歳～中学生）

チケットのお求め

8.31㊏ 10:00前売開始

窓口：スターツおおたかの森ホール 1 階インフォメーション（10：00 - 21：00）
WEB：スターツおおたかの森ホール　https://starts-otakanomorihall.com/
プレイガイド：カンフェティチケットセンター　TEL 050-3092-0051（平日10：00 - 17：00）https://www.confetti-web.com/

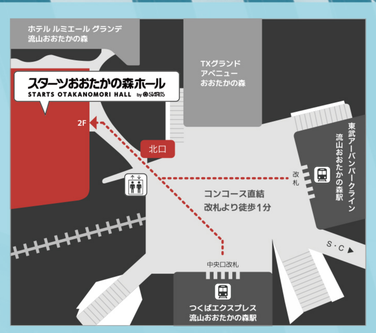
【WEB購入】　【プレイガイド購入】　teket

お問い合わせ

スターツおおたかの森ホール　TEL 04-7186-7638
※車いす席は窓口での取り扱いのみ。詳細はお問い合わせください。
※未就学児のご入場はご遠慮ください（ファミリー・コンサートを除く）。
※やむを得ない事情により出演者・曲目・曲順は変更になる場合があります。※お求めいただいたチケットの変更・キャンセルはできません。

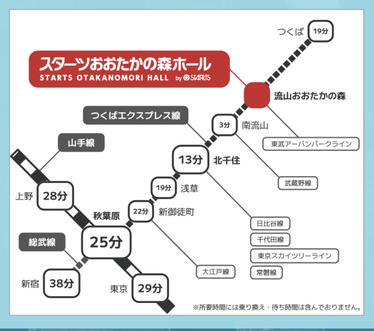
特別協賛：スターツグループ
　　スターツアメニティー株式会社、スターツCAM株式会社、ホテル ルミエール グランデ 流山おおたかの森
協　　賛：京和ガス株式会社、サンコーテクノ株式会社、大成建設株式会社
　　おおたかの森Ｓ・Ｃ／東神開発株式会社、株式会社熊谷組、株式会社三英、公益財団法人GLP財団、株式会社綜合舞台オペレーションズ
サポーター：株式会社Be DREAMERs、マイクロシステム株式会社
協　　力：ヤマハ株式会社
運営協力：コンサートイマジン

主　　催：スターツおおたかの森ホール（指定管理者：スターツ・シアターワークショップ共同事業体）



■会場　スターツおおたかの森ホール
STARTS OTAKANOMORI HALL by STARTS

〒270-0119 千葉県流山市おおたかの森北 1-2-1
TEL：04-7186-7638　https://starts-otakanomorihall.com/
開館時間：8:30 ～ 22:00（臨時休館日あり）



■ACCESS

□電車でお越しの方
つくばエクスプレス・東武アーバンパークライン
流山おおたかの森駅 北口直結 徒歩 1 分

□バスでお越しの方
〈流山おおたかの森駅西口 徒歩 2 分〉　京成バス、東武バスセントラル、流山ぐりーんバス
〈流山おおたかの森駅東口 徒歩 3 分〉　京成バス、東武バスセントラル、流山ぐりーんバス

□車でお越しの方
国道 6 号線 旧日光街道入口→「流山おおたかの森」方面
国道 16 号線 若柴交差点→「流山おおたかの森」方面

※駐車場は 13 台（1 時間無料、1 時間を超える場合 30 分 300 円・上限なし）、身障者用 2 台。
台数が大変少ないため、できる限り公共交通機関をご利用ください。

特別協賛

STARTS　スターツアメニティー株式会社　スターツCAM株式会社　ホテル ルミエール グランデ 流山おおたかの森

協賛

京和ガス株式会社　サンコーテクノ株式会社　大成建設 For a Lively World

おおたかの森 S・C / 東神開発株式会社　株式会社熊谷組
株式会社三英　公益財団法人GLP財団
株式会社綜合舞台オペレーションズ

協力：ヤマハ株式会社
運営協力：コンサートイマジン

森のまちから

発信する

極みの

室内楽

NAGAREYAMA 国際室内楽音楽祭2024

スターツおおたかの森ホール
STARTS OTAKANOMORI HALL by STARTS

2024.11.2(土) - 11.4(月・休)

パスカル・ドゥヴァイヨン
村田理夏子
フィリップ・グラファン
東亮汰
キム・サンジン
趙静
高木綾子
チャールズ・ナイディック
加羽沢美濃
山口由美

STARTS
京和ガス株式会社　サンコーテクノ株式会社　大成建設 For a Lively World

フェスティヴァルとは心の中のお祭り……日頃の心配ごとを忘れ、家族や友人、音楽家たちと音楽の美しさを共有する、そんなひとときです。3日にわたるメイン公演はモーツァルトの静謐な清澄さから、ミヨーがブラジルから持ち帰った熱烈なサンバ(!) まで、その世界は多彩で幅広く、誰もが何かしら楽しめること間違いありません！ ファミリー・コンサートでは、語り手さんがプーランクの音楽に合わせて語ってくれる「子象ババール」の素敵な物語の世界に、お子さんからおじいちゃん、おばあちゃんまで、みんなが引き込まれることでしょう。まだまだたくさんの発見がある3日間の祭典に、みなさんをお招きいたします。流山の一大イベントとなるこの音楽祭。是非お聞き逃しなく！

音楽監督：パスカル・ドゥヴァイヨン / 村田理夏子

11.2［土］ 14:00 「オープニング・コンサート」

W. A. モーツァルト：フルート四重奏曲第1番 ニ長調 K. 285
［高木綾子、フィリップ・グラファン、キム・サンジン、趙 静］

R. シューマン：「おとぎ話」Op. 132
［チャールズ・ナイディック、キム・サンジン、パスカル・ドゥヴァイヨン］

A. ドヴォジャーク: ピアノ三重奏曲 第4番 ホ短調 Op. 90, B. 166「ドゥムキー」
［フィリップ・グラファン、趙 静、村田理夏子］

11.3［日・祝］14:00 「エスプリ・ドゥ・パリ」

C. ドビュッシー：ピアノ三重奏曲 ト長調
［高木綾子、趙 静、村田理夏子］

D. ミヨー：組曲 Op. 157b
［チャールズ・ナイディック、フィリップ・グラファン、村田理夏子］

D. ミヨー：「スカラムーシュ」Op. 165b
［パスカル・ドゥヴァイヨン、村田理夏子］

G. フォーレ：ピアノ四重奏曲 第1番 ハ短調 Op. 15
［フィリップ・グラファン、キム・サンジン、趙 静、パスカル・ドゥヴァイヨン］

11.4［月・休］11:00 「ファミリー・コンサート」

M. ラヴェル：「マ・メール・ロワ」
［パスカル・ドゥヴァイヨン、村田理夏子、山口由美］

D. ミヨー：「屋根の上の牡牛」Op. 58
［フィリップ・グラファン、村田理夏子］

F. プーランク：「子象ババールのおはなし」FP. 129
［パスカル・ドゥヴァイヨン、村田理夏子、山口由美］

11.4［月・休］16:00 「ファイナル・コンサート」

N. ロータ：フルート、ヴァイオリンとピアノのための三重奏曲
［高木綾子、東 亮汰、パスカル・ドゥヴァイヨン］

S. ラフマニノフ：2台のピアノのための組曲 第2番 Op. 17
［パスカル・ドゥヴァイヨン、村田理夏子］

J. ブラームス：クラリネット五重奏曲 ロ短調 Op. 115
［チャールズ・ナイディック、フィリップ・グラファン、東 亮汰、キム・サンジン、趙 静］

※開場時間は各開演時間の30分前

［音楽監督］

パスカル・ドゥヴァイヨン
Pascal Devoyon
［ピアノ］

国際的にその名を知られるピアニスト。ソロ、室内楽共にレパートリーは極めて幅広く、協奏曲のレパートリーは50曲を超える。NHK交響楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団他、世界を代表するオーケストラと共演。室内楽の録音は40を超え、ムスティスラフ・ロストロポーヴィチなど著名な演奏家と共演。2006年、夫人である村田理夏子とピアノ・デュオを結成。執筆活動や講座も盛んに行い、これまで5冊の書籍を出版。パリ国立高等音楽院教授を経て、ベルリン芸術大学教授、英国王立音楽院客員教授、桐朋学園大学特任教授、ジュネーヴ音楽院教授等を歴任。リーズ国際、ジュネーヴ国際はじめ主要国際コンクールの審査委員を務める。フランス政府よりフランス芸術文化勲章“シュヴァリエ”を、ロイヤルアカデミーより名誉会員称号をそれぞれ受章。

村田理夏子
Rikako Murata
［ピアノ］

東京藝術大学卒業後、ベルリン芸術大学に留学、満場一致の最高点首席にて卒業。ポルト国際コンクールをはじめ数々の国際コンクール入賞。ベルリン・フィルハーモニーホールにおける協奏曲公演にソリストとして毎年招聘され、協奏曲のレパートリーは30曲近くに及ぶ。パスカル・ドゥヴァイヨンとのピアノ・デュオにも力を入れ、リリースしたCDは絶賛を博している。室内楽経験も豊富で世界各地の国際音楽祭で演奏を重ね、共演者には多数の著名演奏家が名を連ねる。2023年には、初ソロCD「Voyage de l'esprit/エスプリの旅」をリリース、レコード芸術特選盤に選出された。その他、音楽雑誌への記事の寄稿、マスタークラスなど、音楽教育活動にも幅広く積極的に力を入れている。

［出　演］

フィリップ・グラファン
Philippe Graffin
［ヴァイオリン］

フランス作品の演奏で極めて高い評価を受けている。バルカウスカス、シチェドリンなど現存する作曲家の作品がグラファンに捧げられ、世界初演作品を数多く録音している。これまでにユーディ・メニューイン、ムスティスラフ・ロストロポーヴィチ、マルタ・アルゲリッチらと共演、フィルハーモニア管弦楽団、BBC交響楽団などのオーケストラでソリストを務めた。1990年にはフランスで室内楽音楽祭「コンソナンス」を立ち上げ、2017年よりベルギーのクノック・イザイ国際音楽祭でも芸術監督を務める。1730年ヴェネツィア製のドメニコ・ブサンのヴァイオリンを使用。現在パリ国立高等音楽院教授およびブリュッセル王立音楽院教授。

チャールズ・ナイディック
Charles Neidich
［クラリネット］

これまでにセントルイス交響楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ライプツィヒMDR交響楽団等と共演。室内楽では、ジュリアード、グァルネリ、カルミナ等の弦楽四重奏団と共演。マールボロ音楽祭、BBCプロムスをはじめ、欧米各国の音楽祭に招待されている。1982年ARDミュンヘン国際コンクール最高位(1位なし2位)。ピリオド楽器の演奏者としても知られ、オリジナル版の復元・演奏に重要な役割を果たしてきた。現代音楽の熱心な演奏者でもあり、数多くの作品を初演している。CDは多数のレーベルからリリース。近年は指揮者としても意欲的に活動している。ジュリアード音楽院をはじめ複数の学校で教鞭を執る。

キム・サンジン
Sang Jin Kim
［ヴィオラ］

数々の国際コンクールで優勝を果たし、アメリカ、ヨーロッパ、アジアで年間70以上もの公演を行なっている。現在、延世大学教授。また、ソウル室内管弦楽団の音楽監督および指揮者を務める。最近では、サル・ガヴォー、アルテ・オーパー、カーネギーホール、リンカーンセンターなどのホールで演奏。マールボロ、アスペン、ブラハの春などの著名な音楽祭にも参加している。インターナショナル・セジョン・ソリスト、クモ・アシアナ弦楽四重奏団、M. I. K. アンサンブルで演奏、主要な韓国オーケストラにもソリストとして頻繁に招かれている。 2001年に大統領賞および最高市民賞を受賞し、文化大使にも任命された。

東 亮汰
Ryota Higashi
［ヴァイオリン］

第88回日本音楽コンクール第1位。ソリストとしてNHK交響楽団などと共演。Japan National Orchestraコアメンバー。コンサートマスターとして国内主要オーケストラへの客演も重ねている。桐朋学園大学音楽学部を首席で卒業。テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHK Eテレ「クラシックTV」などメディア出演も多数。NHK Eテレのアニメ「青のオーケストラ」で主人公の演奏を担当。メジャーデビューアルバム「Piacere～ヴァイオリン小品集」をリリースし、第16回CDショップ大賞2024クラシック賞を受賞。ユニバーサルミュージックと専属契約を結んでいる。使用楽器は、株式会社文京楽器を通じて匿名のオーナーより貸与されている1831年製 G.F.プレッセンダ。

※ファイナル・コンサートのみ

趙 静
Jing Zhao
［チェロ］

これまでにチョン・ミュンフン、エリアフ・インバル、ロリン・マゼール、リッカルド・ムーティ、小澤征爾らの指揮者と共演、バイエルン放送交響楽団、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団などでソリストを務めている。室内楽では、マルタ・アルゲリッチ、トレヴァー・ピノック、アントワン・タメスティ、マキシム・ヴェンゲーロフらと共演。ルガーノ音楽祭、別府アルゲリッチ音楽祭、ラ・フォル・ジュルネなどの音楽祭にもたびたび招かれている。2005年ARDミュンヘン国際コンクール第1位、2009年エクソン・モービル音楽賞受賞。使用楽器は私立財団より貸与されているモンタニャーナ(1738年)。

高木綾子
Ayako Takagi
［フルート］

東京藝術大学、同大学院修了。第17回日本管打楽器コンクール第1位及び特別賞、第70回日本音楽コンクール第1位、第12回新日鐵音楽賞フレッシュアーティスト賞、ジャン=ピエール・ランパル国際フルートコンクール第3位、神戸国際フルートコンクール第3位など、多数の受賞歴をもつ。国内主要オーケストラはもとより、新イタリア合奏団、シュトゥットガルト室内管弦楽団、パリ室内管弦楽団、フランツ・リスト室内管弦楽団などと共演。CD録音も活発に行っており、いずれも好評を博している。東京藝術大学准教授および洗足学園音楽大学客員教授、日本大学芸術学部、武蔵野音楽大学、桐朋学園大学非常勤講師として後進の指導にもあたっている。

加羽沢美濃
Mino Kabasawa
［ナビゲーター］

東京藝術大学大学院在学中、1997年に日本コロムビアからCDデビュー。2022年にデビュー25周年を迎えた。トップブレーヤーからの委嘱依頼に応えてオーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽などの作品を発表している。テレビやラジオ番組に数多く出演。『題名のない音楽会』『名曲リサイタル』『ららら♪クラシック』では司会を務めた。近年では、作曲家の視点からクラシックをわかりやすく解説するレクチャーコンサートや、ジャンルの垣根を越えたコラボレーションコンサートなどを全国各地で主宰。2023年には台湾での新曲発表を行うなど国内外に作品を届けている。

※ファミリー・コンサートを除く

山口由美
Yumi Yamaguchi
［ナレーション］

陶芸作家。茨城県笠間市在住。愛犬をモデルに陶の犬を製作、1998年より「犬のまるちゃん展」で初個展、各地でイベント出店や企画展示など、今年で26年目を迎える。陶芸の傍ら、ボサノバの歌い手、イベント司会などのステージ経験をするうちに、地元の民話に触れ民話語りを始める。狐や天狗、河童や山姥など、登場人物の声色を使い分け、拍子木やでんでん太鼓や鈴などを鳴らし、時には歌や踊りを入れた一人芝居のような語りは、子供からから大人まで楽しんでいただけるよう、毎回工夫を凝らしている。最近では音楽劇のナレーターにも挑戦中。

※ファミリー・コンサートのみ